

「SDGs ローカル・アカデミー」 全国報告会



SDGsで考える ビジネスと地域の関係

日時：平成31年2月17日（日）13時～18時

場所：Creator's District 神保町

東京都千代田区神田小川町3-6-8 伸幸ビル4階

（神保町駅A5・小川町駅B5徒歩4分）

参加費：無料

申込：https://epc.or.jp/pp_dept/events/events-archive-190217

事務局：一般社団法人環境パートナーシップ会議
sdgs-academy@epc.or.jp（江口・藤本）



プログラム

2015年9月に国連で採択されたSDGsでは、「誰ひとり取り残さない」2030年の持続可能な世界を目指すことが掲げられました。この国連文書2030アジェンダはそのタイトルに「我々の世界を変革する」と冠し、「このアジェンダは、人間、地球及び繁栄のための行動計画である」という前文から始まります。持続可能な社会を実現するためには、企業やNPO、行政等がパートナーシップを組み、一人ひとりが社会を変革する担い手になることが必要です。

環境省では、平成30年度地域の環境課題解決に向けたSDGs人材育成事業として、北海道、広島、愛媛の全国3カ所でSDGsローカル・アカデミー（研修）を実施しました。これは、2030年までに持続可能な社会を実現するために「企業の経済活動と世界の持続可能性の両立」「都市も地方も活かしあう関係の再構築」という、既存の枠組みを超えて地域の環境・経済・社会の課題の同時解決に取り組む人材を育成するものです。全国報告会では、研修生による研修報告と本研修事業の検討・評価委員によるトークセッション「SDGsで考えるビジネスと地域の関係」を行います。「問い」を深めるためのフロアディスカッションも予定していますので、多くの皆さまのご来場をお待ちしております。

時間	プログラム	内容
13:00-13:15	開会 (受付は12:30~)	開会挨拶 SDGsローカル・アカデミーの概要説明
13:15-14:50	研修生・研修受入先による 現地研修報告	北海道余市町（研修受入先：NPO法人北海道エコビレッジ推進プロジェクト） 広島県安芸太田町（研修受入先：NPO法人三段峡-太田川流域研究会） 愛媛県宇和島市（研修受入先：特定非営利活動法人SO-EN）
14:50-15:10	休憩	お茶と北海道・広島・愛媛のお菓子付き
15:10-16:30	トークセッション 「SDGsで考える ビジネスと地域の関係」	検討・評価委員によるトークセッション フロアディスカッション
16:30-17:00	まとめ・閉会	検討・評価委員からの総括コメント 閉会挨拶
17:00-18:00	交流会	発表者・参加者とのネットワーキング（軽食付き・自由参加）